

授業実践ギャラリー

避難訓練！！





災害はいつ何時発生するかわかりません。
学校では月に一回、避難訓練を行っています。
毎回違う状況を設定し、どんなときでも落ち着いて適切な行動ができるようにしています。

今日の訓練は、実習棟の2階調理室から出火したという想定です。
発見した教員は周囲に知らせると同時に初期消火を試みます。





火災の場合は状況確認を待たずに、直ちに避難します。絶対に火元に近づかず、建物の外に出ることが大切。2階の部屋からは避難用滑り台で避難しました。先生たちも落ち着いた声で誘導し、生徒を不安にさせないように気を配っています。

避難場所の体育館に着くまで、ハンカチなどで口を覆っています。火災では火と同様に煙が怖いことをよく覚えていました。





体育館に避難したら人員確認します。
在籍数、欠席数、現員数を学年ごとに確認しま
す。生徒はもちろん、職員の数も確認が必要で
す。実際の火災現場ではそれらを消防官に素早
く伝えないといけません。シンプルに、正確に。
訓練が必要です。

避難したときは、教員1名は生徒の前
にいて、常に顔色など様子を観察します。
発災時は大きなストレスがかかります。
そんな中でも安心して落ち着いた行動が
できるようにすることも避難訓練の目的
の一つです。

